



滝巡りの拠点「巖立」高さ72m

飛騨の滝といえば乗鞍岳から落下する「平湯大滝」が有名ですが、日本三霊山のひとつ御嶽山の麓に位置する下呂市小坂町は、その豊かな水と急峻な地形により日本一滝の多い町として知られています。その数は落差5m以上のものだけでも

ご当地
自慢

がんだて
飛騨小坂の滝と「巖立」

60

岐阜署

◆**巖立峡**
溶岩で形成された、日本一の溶岩流の断面です。同じような岸壁が上流一七キロに渡って続いています。荒々しい肌を見せる断崖は御嶽山の火山活動新期の噴出である「摩利支天溶岩」が兵衛谷に沿って流下し固まったもので、溶岩の弱い部分が浸食によって数万年かかって流出し、溶岩流の断面が露出したものです。岩質は、両輝石安山岩で溶岩が冷えて固まるときに柱状の節理となります。岩壁の高さは約七十二m、幅

二一六箇所、これらの滝は、御嶽山の過去二度の噴火による溶岩流によって作られ、今もなお、川の浸食などにより常に姿を変えています。滝の多くは、当署管内の落合国有林内に所在し、これらの滝の様子を肌で感じられる滝巡りのコースがいくつか設定されており、詳しい専門のガイド付きで巡ることもできます。



轟音が響き渡る「唐谷滝」落差15m



雨桶のような「あかがねとよ」落差14m

約一二〇mもあり壮観ものです。噴火の年は、小坂川水力発電所の導水路掘削中に溶岩の中から発見された「木片」を、平成四年に名古屋大学でカーボン測定し、約五万四千年前という年代が判明しました。岸壁の対岸には「がんだて公園」があります。ここは滝巡りの拠点、常駐するガイド（NPO法人飛騨小坂二〇〇滝）が訪れた人々に滝巡りを説明してくれるほか、それぞれのコースガイドも行ってくれます。滝巡りのコースは、がんだて公園から歩いて十五分程で味わうことができる散

策コースから、獣道を下ったり、狭い深い谷の秘境で川を横断する冒険コースまで、お年寄りから子供まで幅広いレベルに応じた滝巡りのコースが設定されています。



「根尾の滝」落差63m

この「小坂の滝」は、地域の活性化と豊かな自然を活かした取り組みとして高く評価され、平成二十年八月に開催された「飛騨・美濃じまんミーティング」岐阜の宝もの認定式において「岐阜の宝もの」第一号に認定されました。

◆**アクセス**

車 東海環状自動車道

「富加関IC」より約九〇分

中央自動車道

「中津川IC」より約九〇分

鉄道 JR高山本線飛騨小坂駅下車

車で約二〇分

◆**問い合わせ**

NPO法人飛騨小坂二〇〇滝

<http://www.osaka-taki.com/>

下呂市小坂町小坂七六九

TEL 〇五七（六二）二二二五